

様式第1号

会 議 録

会 議 の 名 称	令和5年度第3回所沢市産業振興ビジョン推進会議
開 催 日 時	令和6年1月30日（火）14:00～15:30
開 催 場 所	所沢市役所 604会議室
出 席 者 の 氏 名	（会議に参加した委員） 河藤 佳彦、三上 誠、清水 豊、佐藤 護、大木 敬治、 新井 重雄、佐藤 隆洋、新井 祥穂、飯塚 清隆
欠 席 者 の 氏 名	朝倉 はるみ、室住 敬寛
説 明 者 の 職 ・ 氏 名	なし
議 題	（1）所沢市産業振興ビジョン推進会議意見書（案）について （2）その他
会 議 資 料	資料3-1：所沢市産業振興ビジョン推進会議からの意見について（案） 資料3-2：所沢市産業振興ビジョン推進会議 意見書（案）
担 当 部 課 名	産業経済部 部長 鈴木 明彦 産業経済部 産業振興課 課長 奈良 和子 主査 安齊 克徳 主査 前川 浩二 主査 向井 達哉 主任 森田 康隆 主任 佐久間 香穂 産業経済部 商業観光課 課長 古田 晃一 主幹 堤 健太郎 主査 相笠 豊 主査 藤井 徹 産業経済部 農業振興課 課長 大館 寿貴 事務局 産業経済部 産業振興課 電話 04-2998-9157

様式第2号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
産業振興課長	開会
会長	あいさつ
産業振興課長	配付資料の確認
産業振興課長	会議の進め方・議事項目について説明
会長	それでは、議事を進めます。本日、傍聴希望者はおられますか。
事務局	1名おられます。
会長	入場を認めます。傍聴者は所沢市情報公開条例に基づき、静粛に会議の妨害などしないようお願いします。
会長	それでは、議事を進めます。
会長	議事（1）所沢市産業振興ビジョン推進会議意見書（案）について
会長	議事（1）所沢市産業振興ビジョン推進会議意見書（案）について、初めに私から説明いたします。
会長	今回の議事内容である意見書について、このようなかたちとした理由は、委員の意見を整理することで、外部からも見えやすくなり、当推進会議からの意見を今後予算編成などに反映させていけるよう、意見書というかたちで見える化することが良いと考えるからです。
会長	意見書（案）は委員の意見を整理して作成したものであり、素案です。そこで、意見書として整理することについて委員の皆様に諮り、また、委員の皆様より意見をいただき、最終的な意見書とすることを提案します。
会長	それでは、内容について事務局より説明をお願いします。
事務局	「資料3-1」及び「資料3-2」に基づき説明

会長	今後、このようなかたちで意見書としてまとめていくということ でよろしいでしょうか。
各委員	異議なし
会長	「(1) 工業(製造業)に対する意見」(資料3-2:3ページ) について読み合わせ
会長	それでは、「(1) 工業(製造業)に対する意見」について意見 をお願いします。
委員	【各委員からの意見】の4つ目について、「企業の労働生産性」 を「企業の労働生産性の向上」とした方がわかりやすいと思います。 また、本文5、6行目の文章について、「～事業者」の説明部分が 長く、読み取りづらいつ感じました。
会長	【各委員からの意見】の4つ目の冒頭部分については、「企業の 労働生産性の向上や情報発信力の強化において、」とするのはいか がででしょうか。また、本文5、6行目の文章については、「併せて、 事業の継続や革新、業務効率の向上につながる DX を推進すること も重要である。こうした取組を行う事業者に対して支援していく必要 がある。」とするのはいかがででしょうか。
各委員	異議なし
委員	事業承継について、後継者不足により廃業が増加しています。新 型コロナウイルス感染症の後遺症、物価高の影響で今後さらに厳し い状況になることが予想できます。市としては継続して事業承継へ の支援に力を入れていくことを意見書の中で触れておくべきでは ないでしょうか。
会長	これまでの委員意見の中から、事業承継への支援に関する一文を 入れるということよろしいでしょうか。
各委員	異議なし

	<p>「（２）商業・観光業に対する意見」（資料３－２：４ページ）について読み合わせ</p>
<p>会長</p>	<p>それでは、「（２）商業・観光業に対する意見」について意見ををお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>観光拠点について、サクラタウン周辺地域と記載があり、東部地域を中心とした内容になっています。西部地域にもトトロの森、狭山湖、西武鉄道の関連施設など多くの拠点があるため、そちらにも目を向けていただきたいです。</p> <p>デジタル時代と言われていますが、中高年世代にはデジタルが苦手な方もいるため、アナログな部分、事業の中で言えば、道標の整備も更に進めてほしいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>観光拠点については、サクラタウン周辺地域だけでなく、それ以外のエリアでも優れた地域資源があるため、その活用を進めていくという趣旨と、情報発信やPRについては、多様な世代に情報提供できるような手法を活用するという趣旨を追加するのはいかがでしょうか。</p>
<p>各委員</p>	<p>異議なし</p>
<p>委員</p>	<p>本文１、２行目の「都県域を越えた」と「近郊観光」についてどのような意味、内容であるかを伺いたいです。</p>
<p>事務局</p>	<p>都市型観光については、広域的な観光ということで、所沢市だけでなく周辺エリアの魅力も発信していくという取組を行っています。例えば、西武線沿線の自治体で連携し、情報発信力の強化、地域振興、魅力アップを図る「西武線沿線サミット」という取組があります。また、狭山丘陵の観光連携として、狭山丘陵を囲む自治体が連携し、サイクリングや子供を対象としたイベントなどを実施しています。</p> <p>「近郊観光」については、実状に合った別の言葉に修正します。</p>
<p>会長</p>	<p>「都県域を越えた」の部分については、「所沢市域を越えた都県</p>

	<p>域にわたる」とするのはいかがでしょうか。また、「近郊観光」については、「都市近郊」という言葉が農業でも使われており、観光に対して使うことも問題ありませんが、この点については、検討していただきたいと思います。</p> <p>それでは、こちらの内容で検討、修正していただくということでよろしいでしょうか。</p>
各委員	異議なし
	「（３）農業に対する意見」（資料３－２：５ページ）について読み合わせ
会長	それでは、「（３）農業に対する意見」について意見をお願いします。
委員	【各委員からの意見】の６つ目について、「流通の２４年問題への備えなど、今後より必要不可欠なものになる。」とした方がよいと思います。
会長	委員意見のとおり修正するというでよろしいでしょうか。
各委員	異議なし
会長	全体的な内容ですが、各分野の見出しについて、「対する」を「関する」とした方がよいと思います。このことについて、いかがでしょうか。
各委員	異議なし
会長	意見の切り分け方について、今回の意見書はこのような分け方でよいですが、後期アクションプランの４つの基本方針をベースとすることも選択肢のひとつであると思います。来年度の課題として検討してください。
会長	それでは、皆様の意見を踏まえて意見書というかたちにしますが、再度集まっていたくことは難しいため、最終的な修正などは

各委員	<p>会長・副会長に一任していただけますでしょうか。</p> <p>異議なし</p>
会長	<p>議事（２）その他</p> <p>議事（２）その他について、まず初めに、第２回会議終了後、各委員よりいただいた DX に関する意見に対して、佐藤隆洋委員よりコメントをお願いします。</p>
佐藤隆洋委員	<p>全体として、DX が重要であるということは認識されていると思いますが、他国と比べて企業の労働生産性が低いというデータがあることから、DX を後押しする取組は重要であると思います。</p> <p>総務省が公開しているデータでは、70歳を超えるとインターネットやデジタル媒体の利用が減るという結果が出ています。DX に関しては、全員がデジタルを使用できるわけではないため、100%は狙わないということが重要です。アナログも併用し、年代によってアプローチ方法を変えることが必要だと考えます。</p> <p>国際化・国際交流は市の施策として取り組んでいくことが重要であり、今では同時通訳も普及しているため、これを活用してコミュニケーションの壁を取り去ることができればよいと思います。</p> <p>今回の意見書などの文章を作る際にも、生成 AI を有効活用することで、業務の効率化につながると思います。</p>
会長	<p>今年度は DX をテーマとして取り上げましたが、今後、重点項目をどのように取り扱っていくのかを改めて検討し、来年度以降につなげていってもらえればと思います。</p>
会長	<p>私からのお願いになりますが、今回の意見書を事務局で有効活用していただきたいと思います。一番の活用方法としては、予算要求時に企画担当や財政担当へ、当会議からの意見として伝えることだと思います。当会議からの意見となりますので、その意見への対応は行政の判断があり、意見書の内容をすべて反映することは難しいかもしれませんが、今後、どのように活用できたかを報告していただければと思います。</p>

会長	<p>議題としては以上となりますが、今年度最後の会議となりますので、おひとりずつ意見などをいただきたいと思います。</p>
委員	<p>推進会議に参加しながら、所沢市は多くの可能性を持っていることを実感しています。それを今後どのように活用し、発展させるかが重要だと思います。</p> <p>これまでの会議で議論してこなかった2点を紹介します。1つ目は芸術・文化面からの発信です。ミュージズなど、文化施設の有効活用を通じて、所沢市への集客につなげていくことができると思います。2つ目は医療施設との連携です。災害に向けた医療という視点から、防衛医科大学校や国立障害者リハビリテーションセンターと連携することで、医療関係の企業誘致を行うこともできるのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>魅力ある農業として、地産地消などの取組をしっかりと行っていくことが重要であると思います。今後、所沢市も人口減少が予想されていることから、各分野において、所沢市の魅力を発信していくことが必要であると考えます。</p>
委員	<p>観光について、他自治体との連携も重要ですが、所沢市単独で具体的な成果を得られる取組を行うことも重要であると思います。意見や情報を発信する際には、具体的な施設や地域の名称を出した方が、読み手にとっては、わかりやすいのではないのでしょうか。</p> <p>今後、所沢市の商店街や中心市街地の活性化についても検討していく必要があると思います。</p>
委員	<p>観光振興を軸として、行政の力を借りながら、地域経済の活性化を図っていきたいと思っています。</p>
委員	<p>DXについては、埼玉県でも積極的に取り組んでいます。DXは、効果がある一方で、全員に行きわたることが難しいなどのデメリットがあることを企業に理解してもらう必要があります。今後、このテーマについて検討していく際には、より細かい部分も見えていく必要があると思います。</p>
委員	<p>将来的には人口減少を前提として、取組に対する検討を行わなけ</p>

	<p>ればならない状況になっていくのかと思いました。</p> <p>最近では、「degrowth」という言葉がタイトルについた、街づくりや地域振興に関する記事や論文が増えており、無駄なものは作らないことや営利を目的としないことの主体として、生活者がどのように関わるかを検討し、事業者だけでなく事業者の少し外側にいる人を巻き込みながら進めていくという取組がヨーロッパで行われています。今後、産業振興施策を検討する中では、直接的な成長につながるわけではない部分などにも、施策が必要になるのではと考えています。</p> <p>多くの企業を見ている中で、直近で解決しなければならない課題がある中、DXを進めていくことは難しい部分がありますが、将来に向けてのビジョンを描いて進んでいくことが重要であると感じています。</p> <p>推進会議の中でもDXに関する話がありましたが、今後は、所沢市のDX推進基本方針などと融合しながら、具体的な施策を検討していけるとよいと思います。</p> <p>各分野に共通して鍵となることは、「鉄道」・「高速道路」・「歴史」であると考えます。産業振興ビジョンを進めていくうえで、これらを切り離しては、未来の人々に内容を伝えることや、強みを更に伸ばしていくことは難しいと思います。</p> <p>企業のDX推進は不可欠なものであり、BCPを策定していない企業などでも重要な取組となりますが、アナログなしでのDXは難しいと考えます。</p> <p>以上のことを今後の産業振興ビジョンにつなげていってもらえればと思います。</p> <p>この会議では、各委員の知識と経験から意見を出していただくことが重要であると同時に、行政はそれを受け止め、実際にどのようなニーズが地域社会の中にあるのかを認識することが重要です。そして、その中から政策の優先順位をつけたり、選択したりすることによって、行政の政策形成能力が向上していくと思います。委員、事務局がそれぞれの役割を実践していくことで、この会議の意義が生まれてくると思います。</p>
委員	
副会長	
会長	

産業経済部長	全議事終了 あいさつ 閉会 以上
--------	---------------------------